

第40回 スポーツリレートークレポート

2019年5月17日（金） 18:30～20:00

仙台市宮城野区中央市民センター 第3会議室 参加者 27名

スピーカー 船崎 恵視 氏 女子バレーボール リガーレ仙台監督
「私の夢」



生年月日：1977年8月14日（40歳）

出身地：宮城県宮崎市

身長：164cm

血液型：O型

座右の銘：継続は力なり

学歴

宮崎日本大学高等学校 卒業

セッターとして出場した1年生大会で優勝。3年次には宮城県代表になり春高バレー、インターハイ、国体に出場。

香蘭女子短期大学 秘書科 卒業

所属チーム履歴

武田薬品（1998-2001）→JTマーヴェラス（2001-2003）→茂原アルカス（2003-2006）→
トヨタ車体クインシーズ（2006-2011）→PFUブルーキャッツ（2011-2013）

Vプレミアリーグに昇格したばかりのトヨタ車体に入部後は、安定したトス回しと効果率Vリーグ歴代3位のサーブを武器にチームを牽引。

2008年の天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会ではチームの優勝に大きく貢献。

2013年にPFUを退団後は、2014年から2017年まで白鷗大学バレーボール部の監督を務める。
在職中に、女子バレーボール部を3部から2部に昇格。

<プロフィールの紹介>

本日はよろしくお願ひします。最初に私のプロフィールを紹介します。

私は宮城県出身でバレーボールが好きで、自分で宮城県で一番強いチームを調べて宮崎日本大学高等学校に入学しバレー部に入りました。周りが特待生の中で苦勞し、3日でやめたいと思ったくらいでした。運よくセッターとして一年生のときから試合に出場し3年生では宮城県代表となって春高バレー、インターハイ、国体に出ることが出来ました。その後香蘭女子短期大学に進みました。

卒業後武田薬品に声をかけていただきバレーを続け、残念ながら三年で廃部となったあとはJTマーヴェラスに所属、とにかくレベルの高い選手の中で大変刺激をうけ、その後茂原アルカス（現在は廃部）からトヨタ車体クインシーズに移籍、ここで葛和監督と一緒にになりました。2011年に退団し一度は選手を止めるつもりでしたが、縁あってPFUブルーキャッツに所属、2013年まで選手として活動

し2014年からは白鷗大学のバレー部の監督を務めました。3年間でしたが大変厳しく指導したと思います。そして、いろいろな出会いがここ（仙台）に導いてくれました。まさに私の座右の銘「継続は力なり」の結果だと思えます。



<リガーレ仙台について>

リガーレ仙台についてですが、4月から12名で練習などがスタートしています。先日は多賀城での私が今もコーチをしている女子のデフバレーボールチームの合宿があり、リガーレと試合をしました。

（映像で紹介）

きれいにとっていただいて最初にこの映像を見たときには上手にみえましたが、こうして久々にみるとまだまだダメですね。なかなか選手全員が長時間集まることが難しいなか、ゴールデンウィーク中の山梨合宿は、同じ寮に泊まっていいコミュニケーションをとることができました。現在はスポンサーの皆さまの協力でバレーがやれていることに感謝したいと思います。

<私の夢>

私の夢、ということでお話したいと思いますが、私自身これまであまり考えてこなかったテーマです。それはきっと自分自身に自信がなかったからかもしれません。葛和さんに出会い、これだけやったのだからと口に出して言える夢ができました。口に出すことで責任が出来ます。この機会をもらい振り返る事ができました。

リガーレ仙台としての「私の夢」は何か。

ひとつにはリガーレから代表選手、オリンピック選手を出したいと思います。私自身がなれなかった、私がみられなかった景色を選手にみてほしいのです。代表選手はプレーがうまいだけでなく、謙虚さと素直さが必要だと思います。一度葛和さんに「お前のプライドなんかしょうもない」と言われたことがあります。チームメートの前で自分の弱い所、カッコ悪い所をみせられない、弱い所をわかっていないからダメなんだということでした。仲間には弱いところも見せてひとつになることが大事なのです。謙虚さと素直さがないと挑戦することはできない、バレーボールは一人ではできません。「謙虚で素直」でないと人は助けてくれません。バレーは人として成長するためのツールであり、いいわけは進歩の妨げなのです。

ふたつめの夢は、「一流のおかあさんを作り上げる」ことです。選手たちはいつか結婚し母になります。今、周りに助けてくれる人がいるうちにいっぱい失敗し成長してほしいのです。その結果、チームも日本一に近づいていくと思います。

大好きな言葉で「人は必要なときに必要な人と会う」というものがあります。今、選手達との出会いもそうです。残念ながらバレーボールは人気や盛り上がりという点で、野球やサッカーには及んでいません。ではどうするか、まずはリガーレのバレーが面白いと言われるようにしたいし、そのことで宮城を元気にしたいと思います。

